

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10683001				
授業名	地域振興論	形態	講義	単位	2単位
担当教員	桜井 篤				
開講学期	2026年度後学期	曜日・時限	水曜4限		
授業目的	本講義では、人間の主要の生活空間を「地域」として捉えた時に生じる発展の可能性を認識することを目的とする。取り上げる実例としては「集客観光」施策を紹介し、地域住民の誇りであるシビックプライドの醸成面を見据えた企画立案及び実施手法を学ぶ。				
授業内容	授業内容地域で求められている「経済効果」「継続性」を念頭に観光振興の具体策とその効果を紹介する。またより理解を深め、モチベーションを高めるために、地域振興に役立つ各種実践的スキルを個人およびグループ学習によって一から体得する。授業では、振興策において「提供価値」に自らの主体的な「介入価値」をどう盛り込めるかを意識して進めて行く。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域における「シビックプライド」を醸成する振興策の提供価値を理解する</li> <li>② 観光振興策の手法各種を体得し、スキルを磨くとともに、自らの見識として身に付ける</li> <li>③ 課題の発見及び解決プロセスを経て提供価値を最大限に高める手法を養う</li> </ol>				
ディプロマポリシーとの関連性	<コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	<p>講義、討論、サービスマーケティング等を複合的に用いる。</p> <p>各回の講義の中で必要に応じて、アクティブラーニングの手法を活用する。質問、意見を求めたり、学生によるプレゼンテーションの機会を設ける。</p> <p>・民間からの専門職採用として千葉市観光プロモーション課課長を務め、同市の観光振興政策（インバウンド戦略立上げを含む）を数多く経験している。また、観光振興コンサルティング、情報発信経験も豊富で、観光情報誌の編集長から観光協会の専門員、行政の観光課課長、魅力発掘コンサルティングなど、長年にわたり、様々なポジションで、地域の観光振興を実現してきた経験を持つ。</p>				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	(ISBN番号：9784496055416) 『まちの魅力を引き出す編集集』(著者：桜井篤 発行元：(株)同友館 2021年) 紙の資料本となります。				
評価方法	<p>授業への参加姿勢 (60点) 事前事後の学習・レポート (40点)</p> <p>■授業への参加姿勢について：以下4点において総合的に判断する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①講師に近い前列のほうの席に座っており、しっかり授業に集中しているか？</li> <li>②アクティブラーニング(全7回程度)の際に講師は巡回するが、その時に見られた取組姿勢</li> <li>③質問を投げかけた時の対応(積極的な発言、まとを得た答えなど)</li> <li>④都度投げかけられる講師の指示に従っているか？(持参を指示したものなど忘れないように)</li> </ol> <p>■事前事後の学習・レポートについて：以下3点において総合的に判断する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①提出しているか？</li> <li>②提出の形は指示通り(文字数限度、フォーマット利用など)になっているか？</li> <li>③引用や一般論ではなくて、そこに自分の見方、意見などが見られるか？</li> </ol>				
評価基準	<p>授業参加の姿勢(授業内での発言、各課題への対応状況など授業への取組み状況等) 60点、 レポート(事前事後学習) 40点</p> <p>24点以上～59点：不可、 60点～69点：C(合格)、 70点～79点：B(合格) 80～89点：A(合格)、 90～100点：S(合格)</p>				
試験・レポート等のフィードバック	<p>■レポートについて</p> <p>毎回復習効果をあげるために出す課題については以下①②のどちらかの対応を内容にあわせて行う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①提出されたレポートのうち、模範解答を次回以降の授業で紹介する</li> <li>②個別の解答に対してコメントによりフィードバックを行う</li> </ol> <p>■試験は実施しない。</p>				
注意事項及び履修条件	<p>事前学習・事後学習を欠かさないこと。</p> <p>■毎回必ずノートをとること。</p> <p>このノートは講義の度にとることで、全授業終了の際には、自分の貴重な学習記録となり、社会に出た後にも使えるものとなるため、メモ用紙ではなく保存性のあるノート形式をおすすめする。</p> <p>本講義をやむを得ない理由で欠席・遅刻・早退する場合は、前もって講師に相談すること。事後相談は原則として受け付けない。</p>				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	指定テキストの「はじめに」を読んで、魅力発掘プロデュースの意味を調べておこう
授業内容	①全15回の授業の流れの説明 15回の講義の流れと目的を伝えることで、積極的な取り組みを応援する。 ②講師のプロフィール紹介。 ③オリジナルシート「好きなもの10」を活用した自己紹介の仕方を身に付ける。
事後学習	説明を受けて、自分が特に興味を覚えた回、および身に付けたいスキルをその理由とともに書いて提出。今後の指導の参考にします。
参考文献	テキスト P2～8「はじめに」 P101～108「来訪者を身近なところからイメージする」

第2回	
事前学習	グループワークにおいて前回記入したものの説明をします。どのような説明をするか、3分～5分でまとめておくこと（イメージトレーニングをしておくこと）
授業内容	地域振興準備編その① ～人を知り、自分を知る～  地域振興の担い手は「人」。そして、それと関わるのは当然「自己」。地域社会の最大幸福に迫るために、自分の志向を知るためのグループワークを行います。
事後学習	グループワークを振り返り感想を記す。また、もっとうまくするにはどうしたらよかったかをアイデアを記しておく。
参考文献	テキスト P101～108「来訪者を身近なところからイメージする」

第3回	
事前学習	テキストP215～220 キルケゴールの「関係性」を読んで、学びとったことをノートに記録する
授業内容	授業内容地域振興準備編その② ～世界を知り、向きあう～  そもそも「地域社会」と言った時に、その「地域」とはどこを意味するのか？そして、自分が生きる世界、社会、地域社会とのつながりとへだたりを感じます。
事後学習	自分の日常生活を振り返り、授業で学んだ「世界における3つの存在因子」および「ルール」と「志向」の違いをまとめておく
参考文献	

第4回	
事前学習	「シビックプライド」「シティプロモーション」とは何か、調べておく
授業内容	地域振興のスキル① シビックプライドとシティプロモーション  地域振興の原点となる「市民の誇りと活動参加意欲」であるシビックプライドおよびシティプロモーションの意義を、歴史や最新の事例をもとに理解します
事後学習	講義で研究した事例について、第一回～第三回までに学んだ観点からその成功原因を分析してコメントする
参考文献	「流山がすごい」（大西康之）新潮新書

第5回	
事前学習	「コンセプトワーク」とは何か、調べておく
授業内容	地域振興のスキル② コンセプトワーク  地域振興の価値を最大化するためのコンセプトワーク、物語化、そして、企画段階でやっておけるゴールイメージを解説します。
事後学習	コンセプトワークシートを作っておく
参考文献	

第6回	

事前学習	テキスト P97～101 【コンセプトワーク】を熟読しておくこと。特にP100の資料はつぶさに読んでおき、この資料のもつ意味を考えておくこと
授業内容	地域振興のスキル③ マーケティング（10人マーケティング）  ビッグデータから10人マーケティングまで、各種マーケティングの特徴および得られる効果と実施する際の注意点を示し、明日からすぐに行える10人マーケティングが事業の進行にあわせて全行程で有効に効果を発揮する点に注目して示します。
事後学習	テキスト P105～P107を読み、授業で学んだこととの関連性を把握しておくこと。特にP107の表はつぶさに読んでおき、「キャラクターライズ」の実践のイメージをつかんでおくこと
参考文献	『「専門家」以外の人のためのリサーチ＆データ活用の教科書』（米田恵美子 東洋経済新報社） 『シビックプライド～もっと都市は楽しくなる もっとまちが好きになる～』（株）宣伝会議

第7回	
事前学習	自分の好きな物語作品（お笑いなどのコント、映画、小説・物語、音楽など）を具体的にイメージして、その中で感じた「驚き」「笑い」を、そう思った理由とともにそれぞれノートに書いて挙げておきます
授業内容	魅力発掘プロデュースのスキル① 三大欲望  ターゲットの違いによっても生じる恒久的な魅力の源泉を三大欲望に立ち返ることで示します。また、人を引きつけるコンテンツ作りのためのノウハウを学びます。
事後学習	テキスト ・P112～113 ■公共交通のアクセスやイベントの設定時間は大丈夫？、 ・P145～160【第5章 ブラッシュアップ】 ・P186～203「仕上げの三大スパイス」 を読み、理解を深めてください。
参考文献	「元リクルートのすごいまちづくり3」（共著 CAPエンターテイメント）第10話

第8回	
事前学習	テキストP13～42【第一章 情報収集】を読んで大切だと思われるポイントをノートに記載しておくこと。
授業内容	魅力発掘プロデュースのスキル② 「笑い」「驚き」「誘い」 地域社会のための活動として、住民を巻き込んで具体的に成果を上げている観光振興策を検証します（候補：佐賀市、福島県いわき市湯本温泉など）
事後学習	授業で使用されたプレゼンテーション資料を見直し、継続発展のために大切だと説明のあった以下のキーワードを覚えておくこと ①DMO（Destination Marketing Organization）②アプローチ
参考文献	

第9回	
事前学習	テキスト P42～44を読み「佐賀の八賢人おもてなし隊」についてインターネットなどでより詳しく調べておくこと。また、この活動で価値を感じた点とその理由をノートに記載しておくこと。特に「地域振興」「観光集客」観点からどんな価値を提供しているかを感じておくこと。
授業内容	魅力発掘プロデュースのスキル③ アプローチ 継続・発展するために  一過性のイベントで終えない体験型観光プランなどの実例をひもときます
事後学習	テキストP115～P144「第4章 受け入れ態勢の構築」およびP261～271「第8章 持続発展させるための戦略」を読み、感想を記しておくこと
参考文献	「元リクルートのすごいまちづくり3」（共著 CAPエンターテイメント）第10話

第10回	
事前学習	テキストP203～P205【3つの哲学的アプローチ】を読んで内容を理解しておきます。
授業内容	魅力発掘プロデュースのスキル④ 3つの哲学的手法  講師が過去に地域振興のため集客観光策を実践して来た時、有益であったのが哲学的手法。現場で活かせる哲学的手法を選抜し、実存主義、現象学および止揚法（アウフヘーベン）を理論と事例をもとに、自らの武器にできるよう習得します。

事後学習	授業で学んだそれぞれの手法の図をじっくり見て深く理解し、身近な例で応用できるかやってみましょう。
参考文献	

第11回	
事前学習	「笑い」「驚き」「誘い」、三つの哲学的手法、コンセプトワーク、キャラクタライズなどこれまで授業で習ったスキルを活用して、自らが設定した課題解決のための企画を、より魅力的にするために当てはめられないか考えておきましょう。
授業内容	地域課題解決のスキル① 魅力発掘プロデュースシートを活用した観光振興企画立案  「コンセプトシート」をもとに「魅力発掘プロデュースシート」に落とし込むことで、観光振興企画を立案するワークを行います。
事後学習	魅力発掘プロデュースシートを活用し、次回の授業のために記入完成させておきます。
参考文献	

第12回	
事前学習	①魅力発掘プロデュースシートの提出 ②千葉市を実例として、地域振興上の課題（市が考える方向性）をHPで調べて、興味をもったものや、自らが課題として設定した内容に関連のあるものを把握しておきましょう。
授業内容	地域課題解決のスキル② 観光振興の有益性  千葉市などを例にとって観光振興がいかに様々な部署の課題を解決できるかをご覧にいます。ご自分の企画をブラッシュアップする参考にします。
事後学習	授業で学んだ内容を探りこみ、自分の設定している課題解決のための魅力発掘プロデュースシートの中味を発表に向けて充実させておきましょう。
参考文献	

第13回	
事前学習	作成した課題解決の具体案を人前で発表するためのポイントとして、コンセプトワークをした時のことを思いだし、BEFORE→AFTERを意識しながら、キャッチコピー（商品名でも可）を考えておいてください。
授業内容	授業内容アウトプットのスキル① 課題解決政策コンテスト準備  効果的な訴求フレーズの作成を行います。また人に伝わりやすいプレゼンテーションスキルなどを学びます。
事後学習	魅力発掘プロデュースシートおよびコンセプトワークシートを完成させて提出します
参考文献	

第14回	
事前学習	講師から受けたフィードバックを課題解決方法に反映しておく
授業内容	アウトプットのスキル② 課題解決政策コンテストプレ&審査会  ①二人一組になって相互プレゼンテーションを実施。 ②選抜された学生によるプレゼンテーションショー ※②の審査員は行政の担当者または地域プロデューサーなど招聘予定
事後学習	授業中に発表者のすべての内容を傾聴していた時にとっていたノートを見返して、感想を記します。その際に「良かったところ」と「改善点」の両方を記すようにして自分の学習効果を高めます。
参考文献	

第15回	
事前学習	まとめの回となりますので、全授業でとってきたノートを見返して、理解が浅いところを質問できるように確かめておきます
授業内容	まとめ 進路別習ったことの活かし方 習ったことが、将来社会に出た時にどう役に立つかを予め聞いた学生ひとりひとりの希望の仕事ごとに、いくつか事例をもとにご説明し、地域振興に寄与する自分の「介入価値」に対して自信を深め、全授業を締めくくります。

事後学習	15回の授業の復習をノートを見ながら行ってください。なお、よせられた感想、質問に対しては、可能な限りフィードバックを丁寧にして、今後に役立てていただくようにいたします。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;コDP-2&gt;  <b>【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】</b>  コミュニティ政策学に関する考え方及び基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(1)&gt;  コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(2)&gt;  講義科目で学んだ専門的な知識とサービラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(3)&gt;  地域社会の多様な場において、コミュニティ形成や課題解決に主体的に参画する態度・志向性を持っている。</p>
-----------	--